

川西小だより

学校教育目標

「学びあい 互いに認め合う

川西っ子の育成」

由布市立川西小学校

令和7年1月23日 第16号

(文責：校長 甲斐 浩司)



安全な登下校のために ～地区児童会～

1月8日、冬休みの反省と3学期のめあてについての話し合いをしました。各班からの報告では、冬休み中に大きな事故やけががなく、自転車の乗り方もよかったようです。「ゲームのし過ぎ」との反省が出されましたが、この点については「ゲームは1日〇〇分」等、ご家庭でのきまりの見直しをしていただければと思います。それ以外は冬休み中もきまりやめあてを守ることができたようです。これからしばらく寒い日が続きますが、生活リズムを整え、朝ご飯を食べて登校班で元気に歩いて来ることができるよう、ご家庭でもサポートをお願いいたします。前日に忘れ物がないように荷物を準備し、決まった時間に起き、登校をする、ここにも「社会性」の基礎の一つがあると思います。みんなと一緒に時間やルールを守り、安全に、自分で歩いてくる。小さなことですが「自立・自律」が、子ども達の成長にとって大切だと考えます。朝のスタートがスムーズにできるよう、前日の夜の過ごし方から見直していただければと思います。よろしくお願いいたします。



雪合戦できるかな？

1月10日の登校対応、大変ありがとうございました。当日、ほとんど雪のない国道とは異なり、校庭には真っ白な雪が積もっていました。登校後の3時間目は全校体育でしたので、雪遊びをすることになりました。2学期に雪が積もっ



た時も「雪合戦したい!」と言っていた子どもたちは、歓声を上げながら雪遊びをしていました。雪だるまを作ったり、雪合戦のために一輪車に雪をたくさん集めたり、普段の休み時間とはまた違った一面を見ることができました。おかげ様で再び、この季節ならではの楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。大寒は過ぎましたが、今後も降雪や急激な寒波到来時には、皆様に、児童の安全な登下校についてご協力をお願いすることもあるかと思います。早めの決定、対応のご連絡に留意いたしますので、今後ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

民話との出会い ～読み聞かせ～

3学期最初の読み聞かせがありました。今回は「やまんばのにしき」という

お話でした。「山姥は怖い」という認識が改められるお話で、子どもたちも真剣に聞き入っていました。あらすじは、山姥が子を産み、山姥のうちへ餅を届けることとなります。誰が届けるかという話になると、誰も手を挙げません。そこでいつも威張っている若者の「ねぎそべ」と「だだはち」が、村人から山姥に餅を届ける役を頼まれます。ところが山姥に餅を届けるのが怖



い二人は、「道がわからない」という理由で老齢の「あかざばんば」が一緒に行くことに。途中で若者は逃げ帰り、「あかざばんば」のみで山姥のところへ向かい・・・、というお話です。話を聞き終わった児童の感想として「山姥が出てくるお話で怖いと思ったけど面白い話だった。」「以前読んだことがあるお話だけど、何回聞いても面白い話だと思った。」「山姥は怖い印象だったけど優しい山姥だったので、印象が変わった。」などが出されました。秋田県に伝わる民話のようですが、全国の民話についてもっと知りたくなるお話でした。

楽しかったスケート教室

1月17日、城島高原パークでスケート教室を行いました。天候にも恵まれ、まずはスタッフの方から滑り方や転び方などを指導していただきました。スケート靴を履いてリンクへ移動。最初は手すりを持って恐る恐る滑っていた子も、最後は手すりを使わずに滑ることができていました。高学年はスピードに乗った滑りをする児童もいて、これまでの経験が生きているなと思いました。また、慣れてくるとリンクで追いかっこをしたり、手をつないで滑ったりと思い思いにすべる姿も見られました。仲良く滑る姿がとても微笑ましかったです。転んでも手袋が濡れても、また滑りに行く姿にたくましさも感じました。最後にお礼の言葉を伝え、スケート教室は終了。短い時間ではありましたが、体力とスケート技術向上を



を図ることのできた時間となりました。冬のスポーツであるスケート、この季節にしか体験できませんので、よい機会となりました。これまでの準備や当日の送り出し等、ご協力ありがとうございました。

次のステージに向けて

(1) みんなで協力、作戦を考える

全校体育では「ポートボール」に取り組んでいます。パスでボールをつなぐので、同じチームの人はボールを持っている人がパスを出しやすい場所を考えて動きます。ルール



を確認しながら、「どこにいればパスが通るのか」、「どこにいればシュートにつながるのか」などを考えています。高学年が指示を出す、低学年は指示を聞いて動くなどの姿が見られました。また、指示を待たずに動ける子もいて、よく考えているなと感心しました。

(2) 中学校見学

1月20日、6年生は湯布院中学校へ見学に行きました。あと2ヶ月ほどで卒業する6年生。実際に中学校に行き、先輩方の授業の様子を見たり、学校生活についての話を聞いたりしました。小学校とは異なる部分もあったかと思いますが、また一つ中学生にむけての心構えができたのではないのでしょうか。

